

2023年3月 昭和鯉城会会報 109号

昭和の会便り



行事レポート

虎溪山永保寺ハイキング

33期（美術）松栄 中村 誠司

11月2日、前日の雨に変わって秋晴れの良い天気にも恵まれ、虎溪山へハイキングを実施。

JR多治見駅10時集合でしたが、ほとんどの人が鶴舞駅9時31分の快速電車に乗車、参加者全員とは多治見駅で合流、13名の参加でした。

臨済宗南禅寺派の寺院「虎溪山永保寺」までパンフレットでは徒歩約26分と書いてありましたが、当日は天気にも恵まれ24度越えの熱さ、途中坂道で我々は佐藤邦三郎（明治に農業用水を完成させた人）の銅像のある場所で一休みし、約1時間かけて永保寺に到着。現存する開山堂と観音堂は国宝に指定されています。

計画時点で「紅葉にはまだ早いかな？」との意見もありましたが、写真の通り紅葉にはやはり早かったようです。

庭園を散策し記念写真を撮り、虎溪公園までまた坂道を登り虎溪公園で昼食。



永保寺庭園

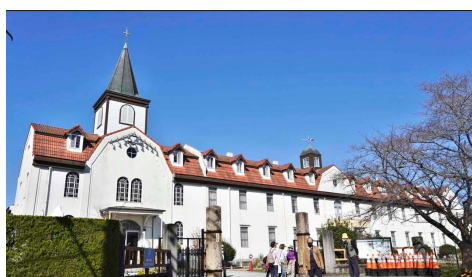


集合写真



虎溪公園展望台から多治見の街を望む

坂歩きと暑さのためメンバーの中には燃料切れ者も発生！茶店で350mlの燃料補給をして後半に備えました。



神言会多治見修道院

後半は下り坂、「神言会多治見修道院」に立ち寄り教会の中を見学、中には懺悔をした方もいたかもしれません。当修道院では翌3日に「第17回AJUワインフェスタ in 多治見修道院」が開催予定でしたが我々は1日早かったと残念な思いをしながら、蔵や古い建

物が残る、レトロな町並「本町オリベストリート」を歩き、喫茶店で一服。あとは駅に向かって歩くだけ、「ながせ商店街」を通り抜け駅まで約15分、無事歩き終わりました。電車のタイミングで全員の集合を待たずにひと電車早く電車に乗り、置いてきぼりさせた方すいませんでした。



ながせ商店街

出典：フリー百科事典『(Wikipedia)』

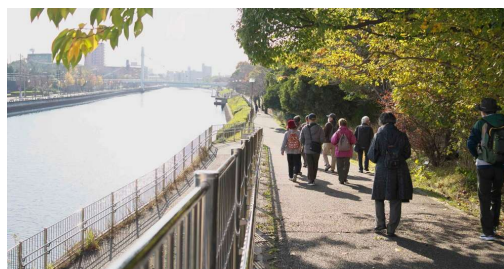
行事レポート

白鳥～熱田神宮コース年末ハイキング

32期（健康B）吹上 伏屋 満

12月8日、昭和鯉城会年末ハイキングに参加した。参加会員は12名であった。

まず、西高蔵駅から西に進んで、堀川沿いに南下し、凶らずも、先月我々が清掃大作戦をした運河沿いの道を通り、開けた雰囲気、「熱田区ええなァ！」と羨ましくもあった。天気も少し風は強いが晴天で、日向は暖かく、気持ち良く歩んだ。



堀川沿い



熱田白鳥の歴史館

最初に訪れた

「熱田白鳥の歴史館」は中部森林管理局の施設で、白鳥貯木場跡地の西の奥まった所にある。全く知る由もなかったが、入れば、広く中部地方の国有林にまつわる昔から、伊勢湾台風で歴史を閉じるまで、興味深い解説と用意された資料で初めて知ることが出来た。

次いですぐ南に隣接する白鳥庭園に入り、予約していただいた茶室「清羽亭」で昼食を取り、園内散策した。雪吊が設置されていたが、名古屋では少し滑稽ではあった。



清羽亭



雪吊



熱田白鳥の歴史館

更に、堀川沿いに「七里の渡し跡」を目指した。途中、名古屋大空襲の慰霊碑や、銃痕の残る堤防も案内いただいた。戦争や伊勢湾台風の痕跡が、身近にあることを気づかされた。



名古屋大空襲の慰霊碑

「七里の渡し跡」までも好天に恵まれ、快適な散策であった。しかし、あまりにも快適

で、一部の参加者は最後の目的地、熱田神宮を忘れて帰ろうとした。この方たちは神宮本殿で、ボケ封じのお参りをしたらしい。

この散策コースは、熱田区の選定している散策路の一部で、バラエティに富んでおり、また、行事委員による見学等の色々な段取りのおかげで、充実した心地よいハイキングであった。



七里の渡し跡



熱田神宮本殿前

行事レポート

桜花学園高校インターアクトクラブとの 交流会に参加して

33期（園芸）御器所 河村 玲子

毎年恒例行事であったにもかかわらず、コロナ禍で2年間中止になっていた桜花学園高校インターアクトクラブとの交流会が1月14日桜花学園高校で開催されました。



交流会メニュー紹介



タブレットを使って
活動紹介

まず、生徒さん達の活動紹介。肩もみボランティア・手話活動・花しょうぶ栽培プロジェクト・赤い羽根共同募金・昭和三十三区民まつりでの苦勞した点や改善点、

そして手話では全国高校生手話スピーチコンテストで入賞していることが発表されました。コロナ禍でボランティア活動が減り、クラブ員も減りと大変ながら新プロジェクトを立ち上げようとがんばっているとのこと。



手遊び風景



爆弾(しりとり)ゲーム風景

続いて、手遊びと3種類のゲームを行いました。ゲームは鯉城会14名と生徒13名(2年生3名・1年生10名)で5チームを作り、得点を競い合いました。



絵伝言ゲーム風景

残念ながら私のチームは最下位になってしまいましたが、生徒さん達と大きな声で笑いながら楽しい1時間半を過ごせました。

コロナが小康状態となり、また恒例行事となることを願います。



ジェスチャーゲーム風景



参加者全員で

ボランティア報告

「昭和区ボラ連 交流の広場」

33期（生活 A） 御器所 片岡 晴彦

「昭和区ボラ連 交流の広場」は、1月14日(土)八事山興正寺の光明殿で行われました。

交流の広場は、昭和区社会福祉協議会の一組織である昭和区ボランティア連絡協議会の交流部会が主催するボランティア同士の交流の場です。

ボラ連には、昭和鯨城会を含め19団体が加入しています。交流の広場は2年ぶりの開催で、14団体から約50人が参加、そのうち昭和鯨城会は6人でした。



司会進行



興正寺住職の講話

交流部会の部会長黒尾さんの司会進行で、昭和区ボランティア連絡協議会会長、昭和区社会福祉協議会事務局長の開会挨拶の後、桜花学園のインターアクトクラブのハンドベル演奏、団体紹介、興正寺住職の講話、交流会が行われました。

交流会では、参加者が8グループに分かれて、それぞれのボランティア団体の活動紹介、ボランティアを始めたきっかけ、ボランティアで嬉しかったこと等を話し合いました。



交流会風景

私はこの交流の広場に参加するまでは、ボランティアについて何も知りませんでした。セラバンド体操をする団体、子ども食堂を運営する団体、防災を進める団体、傾聴する団体等、種々様々なボランティア団体が活動していることを知りました。

昭和鯨城会の花壇に植えている苗も、「ゆめ緑道ごきそ」という団体が川名公園で作っていたんです。どこかから買ってくるものとばかり思っていました。

インターアクトクラブの桜花生も元気に発言していました。ボランティアは土曜日曜の活動が多く、高校生でこのクラブに入るのはなかなか出来ないことです。

私たち昭和鯨城会会員は、ボランティアを主目的で鯨城会に参加している人は少ないと思います。このため他団体と違って、ボランティア活動に対する意気込みが高いとは言えません。

昭和鯨城会も、出来る範囲でボランティア活動に力を入れていきたいです。



桜花学園高校インターアクトクラブ

行事レポート

第5回16区フェスティバルに参加して

33期（生活A）川原 山田 浩

昨年11月17日東スポーツセンターにおいて、コロナ禍で危ぶまれながらも、3年ぶりに16区フェスティバルが開催された。昭和区からは23名、16区全体では、300余名の皆さんに出場いただいた、鯉城学園のOBによる各区対抗の体育祭。



細野会長挨拶

徒競争やバスケットボールのように、スピードやパワーを競う競技種目ではなかったが、ジャンケンゲーム、玉運び、輪投げ、玉入れと、選手の皆さんが、まるで童心にかえったように夢中になって楽しまれていた姿がとても印象的でした。

観客席では、初顔の方とも話ができた、ラインも交換したといった話も聞こえた。さらには、そこかしこで見受けられた同期生、あるいは知人同士の語らい。鯉城学



玉運びゲーム 転ばず運んだよ～



輪投げゲーム



玉入れゲーム

園に入学したことがご縁で出会いとなり、きっとこれからも協力し合っているに違いない。

最後のアトラクションでは、民謡クラブの皆さんを中心として、会場狭しと次第に大きな輪が幾重にもでき、炭坑節、名古屋ばやし、大名

古屋音頭、郡上節がそれぞれ踊られ、とても和やかな雰囲気の中、終了することができた。帰宅したら、スポーツセンターの中ではさほど歩いたつもりはなかったのに、万歩計は1万歩を超しており、快い疲労感と健康がもたらされたことに感謝した。



全員参加の大民謡踊り



昭和鯉城会全員で

昭和鯨城会活動

令和4年度 37期生(1年生)地域ミーティング

32期(生活B) 広路 高島 善行

「地域ミーティング」は、学園の設立趣旨の一つである「地域活動の核となる人材の養成」を目指すため、地域活動学習講座の一環として、鯨城学園が2年間で3回予定しています。

この2年間は学園が休校になっていたこともあり、3年ぶりの開催となりましたが、従来のような昭和区在住者を1教室に集めて説明するのではなく、専門クラス単位で実施することになり、その説明を16区の区会で分担する方法になりました。昭和鯨城会が説明するクラスは、美術Aクラスになりました。美術Aクラスには34名の学生が在籍しますが、残念ながら、昭和区在住者の方はいませんでした。

令和4年11月16日(水)13:30~15:00 鯨城学園において、美術Aクラスを対象に地域ミーティングを実施しました。昭和鯨城会からの出席者は、小川会長、高島総務委員長、水野行事委員長、伏屋広報委員長、下和田ボランティア委員長の5名です。

会長挨拶及び各委員長の自己紹介のあと、私(高島)から、鯨城学園で①知識・教養を高め、②クラス・クラブ活動を通じて仲間づくり及び組織運営の体験を深め、③その成果を社会活動の参加に結び付ける。その受け皿として、「鯨城会」が発足し、16区の区会がある旨説明しました。

また、鯨城会の全体行事等を話したあと、昭和鯨城会の設立目的、現在の会員数、委員数、役員数等の説明をしました。小川会長からは、具体的に昭和鯨城会の地域社会活動(花壇整備・管理、あそびの広場、区民まつり)、行事活動(趣味の作品展、毎月の行事、同好会)、広報活動(昭和こじょう便りの発行)等を説明していただきました。そのあと、昭和区社会福祉協議会の柴田主事から、区社会福祉協議会の紹介・概要説明をしていただきました。その後学生から若干の質疑あり、終了しました。今回の美術Aクラスには昭和区在住者はいなかった



ですが、37期生全体では、28名(11/7現在)の学生がいます。来年卒業する時に、一人でも多くの学生が昭和鯨城会に入会されることを願っています。



今年の卒業生(34期)のうち昭和区在住者が27名います。

皆様のご近所や後輩の方でお知り合いの方が見えたら是非入会をお勧めください。



© dsk

ボランティア報告

3年ぶりの鶴舞公園クリーンキャンペーン

31期（文化A）川原 下和田 学

新型コロナのため中止となっていた鯉城会と鯉城学園の合同のボランティア活動が、3年ぶりに復活しました。

当日(10月1日)は朝の天気予報を確認するまでもない、秋晴れの好天に恵まれ、鯉城会の役員も安堵の表情で準備に万全を期しておられました。



清掃風景

今回の参加者は現役学生175名、鯉城会173名計348名の大勢のため、密を避ける

ため4か所に分散して集合し活動することになりました。昭和区の参加者は学生17名、昭和鯉城会12名でした。鶴舞公園は今リニューアル工事中で立ち入り禁止区画が多くゴミも少ないため短い時間で無事終了。



編集後記

108号の作品展一覧で、5頁上部の平石さん作品を間違えて掲載してしまい、お詫びします。正しい作品は表紙に採用させて頂きましたが、更に訂正部分は、このページ下部のとおりですので、お手数ですが、切り取って108号5頁に貼っていただくようお願いいたします。

昭和鯉城会 「昭和こじょう会便り」 2023年3月109号

発行責任者 小川 賢雄

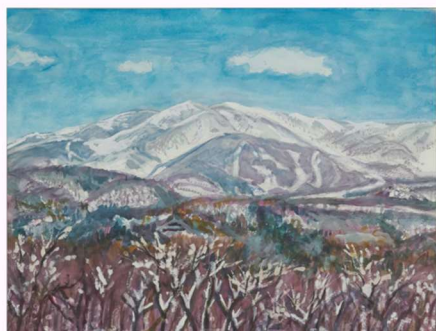
広報委員長 伏屋 満 副委員長 樋口 敏幸

広報委員 杉江 恵理子、細野 博行、中村 誠司、早瀬 芳二

表紙絵 「グリーンピア春日井」平石 茂 (29期 健康A)

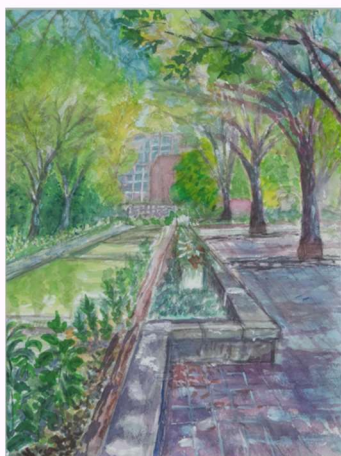
名古屋市高年大学鯉城学園・昭和鯉城会共同発行

↓ 108号5頁上部差し替え



ひるがの高原より大日岳を望む

29期 平石 茂



グリーンピア春日井



フリリエ

28期 榊原 寿々子